

平成27年度 根室市財務書類4表（概要版）

地方公会計改革として、従来の現金主義・単式簿記に、発生主義の活用及び複式簿記の考え方を取り入れた新しい公会計制度に基づく財務書類4表を作成しました。

☆作成方法

- ・総務省方式改定モデル
 1. 作成基準日：平成28年3月31日
 2. 対象範囲：普通会計（一般会計、農業用水会計、汚水会計）

貸借対照表（バランスシート）

貸借対照表（バランスシート）とは、住民サービスを提供するために市が保有している土地・建物及び現金などの資産と、その資産をどのような財源（負債・純資産）で賄ってきたかを表した表です。

| 資産の部（所有する財産の金額） | | 負債の部（将来世代が負担する金額） | |
|----------------------------|-------------------|------------------------------|-------------------|
| 公共資産 （道路・公園・学校などの土地や建物） | 46,678 百万円 | 固定負債 （地方債（借金）、退職手当引当金など） | 22,540 百万円 |
| 投資等 （基金、出資金、長期延滞債権など） | 4,460 百万円 | 流動負債 （翌年度償還予定地方債、賞与引当金など） | 2,571 百万円 |
| 流動資産 （現金・預金、市税等の未収金など） | 1,954 百万円 | 負債合計 | 25,111 百万円 |
| | | 純資産の部（これまでの世代が負担した金額） | |
| | | 純資産合計 | 27,981 百万円 |
| 資産合計 | 53,092 百万円 | 負債純資産合計 | 53,092 百万円 |

行政コスト計算書

行政コスト計算書とは、1年間の資産形成に結びつかない行政サービスに係る費用と、その行政サービスの直接対価として得られた使用料・手数料などの収益を対比させたものです。

| | |
|--------------------------------|------------|
| 経常費用（A） | 16,246 百万円 |
| 人にかかるコスト （職員給与など） | 3,193 百万円 |
| 物にかかるコスト （物件費、減価償却費など） | 4,800 百万円 |
| 移転支出的なコスト （社会保障費、他会計への支出など） | 8,095 百万円 |
| その他のコスト （地方債利子など） | 158 百万円 |
| 経常収益（使用料・手数料など）（B） | 1,948 百万円 |
| 純経常行政コスト（A）－（B） | 14,298 百万円 |

純資産変動計算書

純資産変動計算書とは、貸借対照表の純資産が1年間でどのように変動したかを示したもので、今までの世代が負担した額の変動を表したものです。

| | |
|-------------------------------------|-------------|
| 期首純資産残高 | 27,544 百万円 |
| 当期変動額 | 437 百万円 |
| 純経常行政コスト | △14,298 百万円 |
| 資産形成のため受入れた財源 （市税、地方交付税、国・道支出金等） | 14,770 百万円 |
| その他（災害復旧事業費等） | △35 百万円 |
| 期末純資産残高 | 27,981 百万円 |

資金収支計算書

資金収支計算書とは、行政活動に伴う現金等の資金の流れを3つの性質に区分し示したもので、どのような活動に資金が必要となったのかを表したものです。

| | |
|--------------------------|------------|
| 期首歳計現金残高 | 117 百万円 |
| 経常的収支 （市税、国庫支出金など） | 2,490 百万円 |
| 公共資産整備収支 （公共資産整備支出など） | △469 百万円 |
| 投資・財務的収支 （投資及び出資金など） | △1,997 百万円 |
| 期末歳計現金残高 | 141 百万円 |

市民1人あたりの貸借対照表

| | |
|----------|----------|
| 資産 | 負債 |
| 1,945 千円 | 920 千円 |
| | 純資産 |
| | 1,025 千円 |

今までの世代で負担 60.07%

将来の世代で負担 53.91%